



清潔な水の供給がホープの活動基盤です。

世界では 毎日10億以上の人々が汚水を飲み、毎年500万人以上が予防可能な汚水関連疾病により亡くなっています。

ホープは途上国の貧しい地域で、水がない場所では水を見つけ、汚水が問題の場所では水源を保護しています。何十年も使用できる清潔な水を簡単に確保することにより、人々の健康状態は改善され、農業はよりよく営まれます。そして子供は学校に通う余裕ができ、女性は水汲み以外の活動に時間を費やせるようになり、コミュニティー全体が豊かになります。安全な水、そして衛生習慣こそが貧困の悪循環から抜け出し、新しい希望あふれる未来への第一歩なのです。

国内では世界の現状と国際開発への理解促進活動を行っています。

ホープ・インターナショナル開発機構の全ての活動は個人、企業や団体等、皆さまのご支援・ご厚意により実施していますことを理事・スタッフ一同、心より感謝申し上げます。

平成 20 年度



年次報告書

希望(ホープ)あふれる世界のために



**HOPE International
Development Agency**

特定非営利活動法人ホープ・インターナショナル開発機構

〒460-0008 名古屋市中区栄 1-16-2 神谷ビル3C

Tel: 052-204-0530 Fax: 052-204-0531 Email: info@hope.or.jp

www.hope.or.jp

海外での活動(平成20年度)

ホープ・インターナショナル開発機構は平成20年度も途上国において貧困脱出の自助努力、また避難民に対する以下の支援を実施しました。



エチオピア:南部ボンケ地区ドキレ村

- ✓ 水源保護/水供給システム設置と衛生管理教育を開始

カンボジア:ポーター州にて

- ✓ 小学校の建設・備品設置
- ✓ 井戸の設置と健康・衛生管理教育
- ✓ 牝牛を貸し出すユニークな支援(マイクロクレジット)

アフガニスタン:北部ジェローチャ村

- ✓ 政治的混乱により半壊した人々の生活基盤再建のための家畜銀行(マイクロクレジット)



ラオス:シャイサヴァン村周辺地域

- ✓ 有機農業の啓蒙活動と実演指導
- ✓ 女性の自立支援に職業訓練機材提供



インド

- ✓ タラパティ市にて職業訓練支援

フィリピン

- ✓ バグオイ市の子供の学費支援

スリランカ

- ✓ 北部の避難民に対する緊急食糧配布

日本国内における国際理解教育活動(平成20年度)



主なイベントとしては3月に名古屋および大阪、4月に東京で行ったチャリティー・ディナー、4月のホープ・アット・ザ・ヒルトン・ウィーク、7月の富士チャリティー登山、定期的に行っているホープ・ナイト等が挙げられます。

また今年も高校、大学などでの講演会を実施しました。

2月と8月には日本より多数の方々がカンボジア現地プロジェクトに参加され発展途上国での生活や支援活動を経験、また12月と1月に支援者が現地プロジェクトを視察されました。

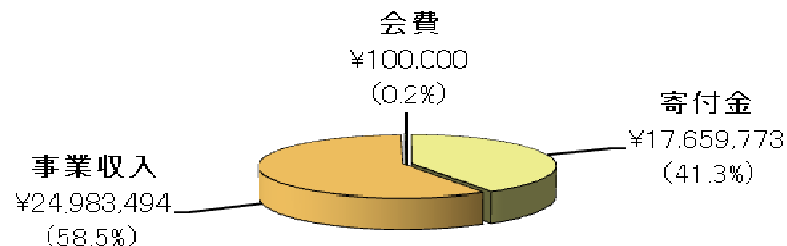
今年度は新たにメンバーシップ・プログラム(賛助会員制度)を始めました。多くの方々のご参加をお待ちしています。



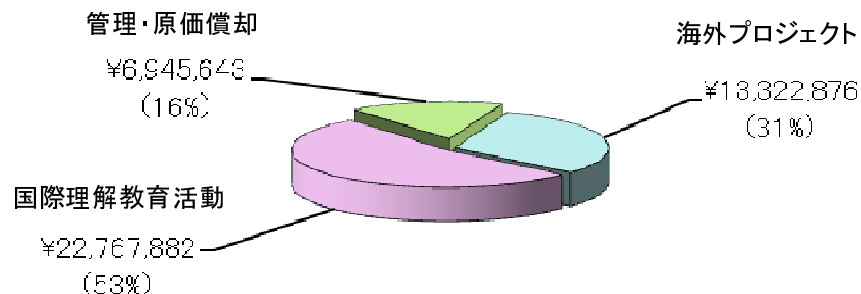
平成20年度 会計報告

2008.10月~2009.9月

平成20年度 収入



平成20年度 経費



収入		経費	
寄付金	¥17,659,773	海外プロジェクト	¥13,322,876
事業収入	¥24,983,494	国際理解教育活動	¥22,767,882
会費	¥100,000	管理費と原価償却	¥6,945,643
収入合計	¥42,743,267	支出合計	¥43,036,401
前期より繰越	¥4,347,588	次期へ繰越	¥4,054,454
合計	¥47,090,855	合計	¥47,090,855